



2020年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年9月9日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL http://www.beautygarage.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理グループ統括責任者 (氏名)齋藤 高広 (TEL)03(5752)3897
 四半期報告書提出予定日 2019年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期第1四半期の連結業績(2019年5月1日~2019年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年4月期第1四半期 | 3,773 | 14.9 | 159 | 37.7 | 158 | 34.4 | 85 | 13.3 |
| 2019年4月期第1四半期 | 3,283 | 21.2 | 115 | △15.0 | 117 | △14.1 | 75 | △45.5 |

(注) 包括利益 2020年4月期第1四半期 70百万円 (△6.8%) 2019年4月期第1四半期 75百万円 (△45.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年4月期第1四半期 | 13.51 | — |
| 2019年4月期第1四半期 | 11.93 | 11.93 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年4月期第1四半期 | 6,336 | 3,773 | 57.9 |
| 2019年4月期 | 6,827 | 3,810 | 54.9 |

(参考) 自己資本 2020年4月期第1四半期 3,666百万円 2019年4月期 3,749百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年4月期 | — | — | — | 9.00 | 9.00 |
| 2019年4月期 | — | — | — | — | — |
| 2020年4月期(予想) | — | — | — | 10.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年4月期の連結業績予想(2019年5月1日~2020年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|------|------|------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 7,453 | 15.1 | 232 | 7.5 | 239 | 11.6 | 131 | 4.8 | 20.95 |
| 通期 | 16,035 | 15.8 | 743 | 18.3 | 751 | 16.5 | 451 | 19.0 | 71.86 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
新規1社(社名)台湾美麗平台股份有限公司、除外—社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年4月期1Q | 6,376,000株 | 2019年4月期 | 6,376,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年4月期1Q | 63,512株 | 2019年4月期 | 482株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2020年4月期1Q | 6,350,087株 | 2019年4月期1Q | 6,348,725株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善からの個人消費の増加を背景として、景気は緩やかな回復基調を維持しました。また世界経済においても、全体として緩やかな成長を維持したものの、米中貿易摩擦の長期化による中国経済の減速懸念や、アジア新興国地域の景気も減速トレンドにあるといった不安定要素もあり、先行きは不透明な状態にあります。

美容業界におきましても、顧客単価の下落や来店頻度の減少といった厳しい事象が続いており、結果として低価格店の登場や専門店への細分化、フリーランスの増加等、ビューティサロンの経営環境も変化してきており、生き残りをかけた店舗間競争が激化してきております。

そのような状況下、当社グループでは5月にBEAUTY GARAGE TAIWAN Inc.の大型ショールームを台北にグランドオープンいたしました。延床面積約400㎡と美容サロン向け商材を扱っているショールームとしては台湾でも最大級の規模となっております。また7月には、BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE. LTD.でも延床面積約320㎡のシンガポール最大級のショールームをグランドオープンし、グローバル市場進出の体制基盤を整え販売拡大を目指しております。一方国内においては、物流センターのオートメーション化促進のための設備増強を行い、ロジスティクス業務の生産性向上とキャパシティ拡大に向けた施策を行ってまいりました。なお7月には子会社の株式会社BGベンチャーズが運営するBGベンチャーファンド第1号投資事業組合が第1号案件となる投資実行を完了させており、事業シナジー創出と潜在収益機会の発掘も目指しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,773,297千円（前年同期比14.9%増）、売上総利益は1,187,481千円（前年同期比20.9%増）、営業利益は159,331千円（前年同期比37.7%増）、経常利益は158,483千円（前年同期比34.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は85,800千円（前年同期比13.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム+法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」、および海外営業拠点を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン向けに提供しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、ECサイトのUI/UXの着実な改善と進化を継続することに加えて利用頻度向上施策に注力し、EC経由売上高のさらなる拡大を目指してまいりました。また急成長カテゴリーである化粧品・材料の売上をさらに伸ばすべく、新規取引口座開拓によるブランドラインナップの拡充とプライスリーダーシップ戦略で、市場シェア獲得に注力してまいりました。

この結果、EC売上高が前年同期比23.4%増（物販売上構成比率73.4%）、化粧品・材料売上高が前年同期比26.3%増（物販売上構成比率47.7%）と大きく成長し、物販事業全体としての売上高は2,946,630千円（前年同期比18.8%増）、セグメント利益は136,630千円（前年同期比56.7%増）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・福岡・大阪・名古屋において店舗設計・工事施工監理を提供しております。

これまでトレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計デザインの提案を行うことで、独立開業を目指す顧客から高い支持を得ており、チェーン店本部や大型店舗からの受注を多数獲得しております。当第1四半期連結累計期間におきましては、春の開業ラッシュ期の反動もあり完了工事件数自体はやや伸び悩みましたが、売上総利益率を改善することが出来ました。当事業の売上高は716,664千円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益は55,196千円（前年同期比13.5%増）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして開業プロデュースサービス、居抜き物件仲介サービス、集客支援サービス、講習・アカデミーサービス、保険サービス、システム導入支援サービス、店舗リース、M&A仲介サービス等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当該事業は、単体での収益化以上に当社グループの主力事業である物販事業や店舗設計事業への入口、繋ぎ役としての役割に重きを置くようになっております。当第1四半期連結累計期間におきましては、店舗リース事業、講習・アカデミー事業が堅調に推移した一方で、集客支援事業、居抜き物件仲介事業がやや低迷し、当事業の売上高は110,003千円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益は4,842千円（前年同期比62.9%減）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9.8%減少し、4,891,784千円となりました。これは、主に現預金及び棚卸資産の減少によるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%増加し、1,445,102千円となりました。これは、主に有形固定資産の増加によるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて16.5%減少し、2,236,088千円となりました。これは、主に仕入債務の減少によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、327,447千円となりました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、3,773,350千円となりました。これは主に自己株式の取得による減少100,768千円があったことと、親会社株主に帰属する四半期純利益85,800千円の増加に対し、配当金の支払い57,379千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月13日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年4月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,052,533 | 1,713,901 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,163,717 | 1,172,718 |
| 営業投資有価証券 | - | 20,035 |
| 商品及び製品 | 1,635,124 | 1,429,317 |
| 仕掛品 | 83,264 | 99,426 |
| その他 | 506,694 | 471,487 |
| 貸倒引当金 | △16,969 | △15,102 |
| 流動資産合計 | 5,424,365 | 4,891,784 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 251,499 | 353,702 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 146,732 | 164,654 |
| その他 | 308,100 | 307,703 |
| 無形固定資産合計 | 454,832 | 472,357 |
| 投資その他の資産 | 696,664 | 619,042 |
| 固定資産合計 | 1,402,997 | 1,445,102 |
| 資産合計 | 6,827,362 | 6,336,886 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,233,436 | 895,944 |
| 短期借入金 | 47,000 | 75,453 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 157,802 | 130,399 |
| 未払金 | 280,290 | 214,339 |
| 未払法人税等 | 149,315 | 76,159 |
| 前受金 | 240,832 | 285,655 |
| 賞与引当金 | 50,628 | 114,531 |
| 訴訟損失引当金 | 12,274 | - |
| その他 | 506,658 | 443,604 |
| 流動負債合計 | 2,678,238 | 2,236,088 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 158,400 | 136,753 |
| 退職給付に係る負債 | 8,434 | 8,113 |
| ポイント引当金 | 74,442 | 77,826 |
| 資産除去債務 | 44,224 | 44,797 |
| その他 | 53,263 | 59,955 |
| 固定負債合計 | 338,764 | 327,447 |
| 負債合計 | 3,017,003 | 2,563,535 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 768,385 | 768,385 |
| 資本剰余金 | 712,345 | 712,345 |
| 利益剰余金 | 2,269,475 | 2,287,025 |
| 自己株式 | △351 | △101,119 |
| 株主資本合計 | 3,749,854 | 3,666,636 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | △6,102 | △23,811 |
| その他の包括利益累計額合計 | △6,102 | △23,811 |
| 新株予約権 | 1,028 | 1,028 |
| 非支配株主持分 | 65,578 | 129,498 |
| 純資産合計 | 3,810,358 | 3,773,350 |
| 負債純資産合計 | 6,827,362 | 6,336,886 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 3,283,731 | 3,773,297 |
| 売上原価 | 2,301,891 | 2,585,816 |
| 売上総利益 | 981,839 | 1,187,481 |
| 販売費及び一般管理費 | 866,113 | 1,028,150 |
| 営業利益 | 115,726 | 159,331 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 1 | 54 |
| 仕入割引 | 152 | 168 |
| 受取手数料 | 391 | 511 |
| 為替差益 | 1,277 | - |
| 助成金収入 | - | 570 |
| その他 | 1,334 | 536 |
| 営業外収益合計 | 3,157 | 1,841 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 599 | 588 |
| 為替差損 | - | 897 |
| 障害者雇用納付金 | 360 | 480 |
| その他 | 35 | 723 |
| 営業外費用合計 | 994 | 2,689 |
| 経常利益 | 117,889 | 158,483 |
| 特別利益 | | |
| 訴訟損失引当金戻入額 | - | 840 |
| 特別利益合計 | - | 840 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 117,889 | 159,324 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 37,140 | 81,055 |
| 法人税等調整額 | 4,557 | △6,626 |
| 法人税等合計 | 41,697 | 74,428 |
| 四半期純利益 | 76,191 | 84,895 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 442 | △904 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 75,748 | 85,800 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 76,191 | 84,895 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | △314 | △14,195 |
| 四半期包括利益 | 75,877 | 70,699 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 75,683 | 74,466 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 193 | △3,766 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|---------|------------------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 物販事業 | 店舗設計事業 | その他周辺ソ リユーション 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,480,575 | 693,759 | 109,395 | 3,283,731 | — | 3,283,731 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 126,025 | 18,206 | 8,674 | 152,905 | △152,905 | — |
| 計 | 2,606,601 | 711,965 | 118,069 | 3,436,636 | △152,905 | 3,283,731 |
| セグメント利益 | 87,203 | 48,639 | 13,056 | 148,899 | △33,172 | 115,726 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△33,172千円には、セグメント間取引消去14,661千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△47,833千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|---------|------------------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 物販事業 | 店舗設計事業 | その他周辺ソ リユーション 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,946,630 | 716,664 | 110,003 | 3,773,297 | — | 3,773,297 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 15,892 | 13,776 | 1,672 | 31,341 | △ 31,341 | — |
| 計 | 2,962,523 | 730,440 | 111,675 | 3,804,639 | △ 31,341 | 3,773,297 |
| セグメント利益 | 136,630 | 55,196 | 4,842 | 196,669 | △ 37,338 | 159,331 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△37,338千円には、セグメント間取引消去8,375千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△45,713千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。